

平成 3 年 4 月 25 日

発行 福生市議会

東京都福生市本町 5 番地
電話 0425 (51) 1 5 1 1 (代表)



武蔵野の面影が残る
貴重な水辺

— 福生十景・玉川上水新堀橋付近 —

平成三年第一回定例会

3月5日
3月22日

平成三年第一回定例会が、三月五日から開かれ二二日に閉会いたしました。

今回の定例会では市長の施政方針演説に続き、八人の議員から道路、教育、福祉行政等に対し一般質問が行われ、その後、議案二九件と陳情六件が提出され審議されました。

平成三年度の各会計予算を可決いたしました。一般会計の当初予算は、一六七億一、四二六万八千円で昨年に比べ九・六％多くなっています。

特に民生費では、前年比二一・八％多くなり、四一億七、八七二万七千円で予算構成比では二五％となりました。

6,938万8千円

この予算は、市民の皆さんの多様な要求を満たし、生活の安定と向上をはかるために使われます。なお、予算書は図書館で見ることができます。

第一日目 今定例会の会期を一八日間としたあと、市長から施政方針演説が行われ、その後、通告のあった八人の議員のうち、四人の議員が通告順に一般質問を行い、市長の施政を問いました。

(一般会計)

民生

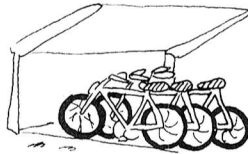
41億7,872万7千円
(25.0%)



- 生活資金貸付事業費 369万2千円
- 在宅福祉活動事業補助金 808万8千円
- 国民健康保険特別会計繰出金 2億9,500万円
- 重度心身障害者日常生活用具給付等事業費 183万4千円
- シルバー人材センター運営費補助金 4,189万4千円
- 福寿会補助金 659万8千円
- 老人保健医療特別会計繰出金 9,360万1千円
- 児童手当、児童育成手当 1億2,970万8千円
- 生活保護費 8億4,336万円

総務

26億2,033万7千円
(15.7%)



- 庁舎建設基金積立金 7,327万1千円
- 拝島駅北口自転車駐車場(仮称)新設事業費 1億9,742万5千円
- 私立幼稚園児保護者負担軽減補助金 8,213万1千円
- 都知事選挙費 957万9千円
- 広報等配布委託料 633万1千円

3年度各会計別当初予算

人口3.1.1現在 59,085人

区分	予算額	前年度比較	市民1人あたりの額
一般会計	167億 1,426万8千円	9.6	282,885円
国民健康保険特別会計	22億 7,738万6千円	2.7	38,544円
老人保健医療特別会計	16億 8,773万5千円	10.4	28,565円
下水道事業会	23億839万9千円	3.5	39,069円
小計	229億 8,778万8千円	8.3	389,063円
受託水道事業会	9億8,160万円	17.7	16,613円
計	239億 6,938万8千円	8.7	405,676円

予算特別委員会の審査から

今定例会三日目に設置された、平成三年度一般会計予算審査特別委員会（委員長・浜中輝夫、副委員長・野口秀世）を、三月八日、一日、二日の三日間開き審査を行いました。

この審査結果が、二二日の本会議で報告され賛成多数をもって可決されました。

消費税導入による

影響額は

（歳入）

問 消費税導入による本予算への影響額を伺いたい。

答 歳出では物件費、維持補修費、建設事業費等で消費税約一億四、三〇〇万円を見込んでいる。歳入では、税制改正による消費税関連措置での増えた分が、消費歳入税、たばこ税等で約五億二、三〇〇万円ある。反面、減った分は、旧たばこ消費税、電気税等で約四億八、〇〇〇万円あり、差し引き約四、三〇〇万円の増となることから、結果として約一億円の影響額を見込んでいる。

評価替えによる

税額はどのくらい

問 固定資産税は土地の評価替えにより約四、八〇〇万円の増収と

なるが、例として、四〇坪程度の土地の税額は幾らになるのか。

答 例を宅地二〇〇㎡、家屋一〇〇㎡、土地の評価額八〇〇万円、家屋八〇〇万円とすると、家屋は据え置きであるが、二年度が家屋を含めて七五、〇〇〇円、三年度が七六、四〇〇円となり、一、四〇〇円の増となる。しかし、都市計画税は二年度が四一、二〇〇円、三年度は税率が百分の〇・二八から〇・二五と下がり三七、八〇〇円となるので三、四〇〇円の減になる。従って、合計では二年度に比べて二、〇〇〇円の減税となる。

新規補助の

白内障眼内レンズ

（歳出）

問 白内障については眼内レンズの補助が実施されるが、補助対象となる概要を伺いたい。

答 市内に居住する六五歳以上

の方で、しかも、その方の属する世帯の生計の中心者の市民税が非課税ということで、約九〇〇人程度を想定している。助成対象は人工水晶体には一眼につき三五、〇〇〇円、特殊眼鏡には一対につき三〇、〇〇〇円、コンタクトレンズには一眼につき二二、〇〇〇円であり、手続きは申請主義で、医療機関の証明書が領収書を添付していただくことになると思う。

下の川の工事

完成予定は

問 下の川の工事で五日市線下

の貫通工事を行う道路整備を進めているが、完成予定及び仮設の富士見橋の階段の改良の時期を伺いたい。

答 五年度完成を予定していたが、五日市線下の貫通工事の関係から道路工事は六年度完了となる。道路構造は八メートルとし、車道分が六・五メートル、これに民地側に歩道をつけて相互交通可能な道路としていく。

意見書

国民健康保険事業の充実・強化に関する意見書

国民皆保険制度の根幹をなす国民健康保険制度は、高齢者や自営業者等の加入者が多い性格上、国の医療保険行政に対する責任は重く、国庫負担が義務づけられている。国は、数次にわたって国民健康保険法を改正するとともに、国庫負担を削減する等、地方自治体への財政負担の転嫁を一層増大させ、国保財政の運営も危機に直面している現状である。よって、国保事業の安定的運営を図るため、地方自治体や被保険者の負担を増大させる制度改正はせず、現行国庫負担の大幅増額と国保事業に対する国の役割を認識し、医療行政充実のための諸施策を早急に講じられるよう強く要望する。

以上、地方自治法第九九条第二項の規定により、意見書を提出する。
（本意見書を内閣総理大臣等に送付しました）

ビンの再利用 回収の状況は

問 不燃物のビンの再利用について、当市はカレット化をしている。生きビン（利用できるビンの再利用は、洗浄に相当の水が必要となるが、このビンのカレット化と生きビンで回収する方法での違いと長所短所を伺いたい。

答 生きビンの再利用が理想的だが、現実の回収では生きビンは約5%である。また、回収した生きビンの中でも約30%は口の欠損や汚れ等で使用できない状況であり、再利用については、ある程度分別収集の徹底が必要であると考えている。

壊される公園トイレ 補修はどうか

問 明神下公園のトイレは、女性用は三基中二基の扉がない。また身障者用の扉もなく、たばこの吸殻や落書などでひどい状態にあるので、公園のトイレの考え方を伺いたい。

答 補正予算をもって修理をしたが、またも壊されている。桜まつりに合わせて補修をするよう発注

している。この公園のトイレは、明かり取りのガラスブロックをプラスチック製にかえるとともに、投石の元となる付近の石も片づけていきたいと考えている。

議員表彰

東京都議会議員会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。平成二年度においては、次の議員が表彰されました。

仲村 清信	正副議長三年以上
指田 保雄	議員一五年以上
原 敏子	東田 正治
村尾 栄次	松山 清
議員七年以上	
上野 重勝	井上 寅吉
齋藤 巽	赤星 行人
村野和一郎	在原 博
林田 武	

緊急医療体制 現状はどうか

問 緊急医療体制は二四時間体制であるが、市内における救急車の出動回数と、それに対応できる病院を伺いたい。

答 市内の出動件数は平成二年

一月から二月で一、六八五件あった。市内の救急病院は福生病院、大聖病院、目白第二病院が指定されている。また命にかかわる場合は、救命センターが青梅市と八王子市内で二カ所指定されている。

仮称八小用地 よりよい利用を

問 仮称第八小学校用地に設置する時計と照明灯の内容を伺いたい。

答 現在、自由広場として利用しているが、今年福生市内の二団体から桜の苗木二五本の寄付があり植樹した。併行して夜間のジョギングや散歩で利用する場合の関係と防犯的な意味も含めて、現在ある道路照明灯を考慮して、暗い所を中心に六基の照明灯を設置し、また、太陽エネルギーを利用してのソーラー時計を一基設置する。

英語教育指導 の内容変化は

問 中学校の英語教育指導で、三年度を二八〇時間から三四〇時間と増やしたことによる内容変化と、また英語指導員を増やす考えについて伺いたい。

答 生徒には直接外人講師と会話ができることから好感をもって迎えられている。学校内で協議した結果、年間を通して一学年は七時間から八時間に、二学年は四時間から五時間に、三学年は二時間から三時間に増やしていく。

また、指導員の増員は、平成五年から新教育課程になると選択教科の授業時数が増えるので、教科等の時数編成の中で増員ができればと思う。

臨時会

平成三年第一回臨時会が一月二三日（水）に開かれました。

今回の臨時会には、市長から一般会計及び特別会計の補正予算をはじめとする五議案と、議員から国民医療改善に関する意見書他二件が提出され、賛成多数をもっていずれも可決されました。

三常任委員会の審査から

今回の定例会に提出された二九議案と陳情六件のうち二六議案と陳情六件の審査が各委員会に付託され、継続審査中の陳情一四件の審査と合わせ、三月一日から三日間行われました。各常任委員会に付託された議案は次のとおりで、いずれも可決されました。

建設委員会

①福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例
(融資申込者の資格の一部変更)

②福生市都市公園条例の一部を改正する条例
(新たに都市公園を設置したことに伴う改正)

③(仮称)熊川・松原線改良事業(歩道橋)の事務の委託を受けることについて
(歩道橋改良事業の実施に伴い、昭島市から事務委託を受けるため規約を定める)

④平成二年度福生市一般会計補正予算(第五号)
(歳入歳出予算の総額に三億九、六三五万六千円を追加し一七五億二、二四六万九千円とするもの)

⑤平成二年度福生市下水道事業会計補正予算(第四号)
(歳入歳出予算の総額に三、一一〇万三千円を追加し二、三億五、五〇万

五千円とするもの)

⑥平成二年度福生市受託水道事業会計補正予算(第三号)
(歳入歳出予算の総額に五一、九万五千円を追加し八億三、七九三万九千円とするもの)

⑦平成三年度福生市下水道事業会計予算
(歳入歳出予算の総額を二、三億八、三九万九千円とするもの)

⑧平成三年度福生市受託水道事業会計予算
(歳入歳出予算の総額を九億八、一六〇万円とするもの)

⑨市道路線の認定について
(道路新設に伴い市道として認定)

総務委員会

①福生市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
(国の改定に伴い期末手当の基礎額及び支給割合を改正するもの)

②福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
(報酬の額の改定に伴う改正)

③福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
(前項①と同じ)

④福生市教育委員会教育長の給与及

び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
(前項①と同じ)

⑤福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
(前項①と同じ)

⑥福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
(固定資産税の納期の特例を定めるため)

⑦福生市都市計画税条例の一部を改正する条例
(税率及び納期の特例を定めるため)

⑧福生市育英資金支給条例の一部を改正する条例
(支給額の引き上げに伴う改正)

⑨福生市文化財保護条例の一部を改正する条例
(文化財の登録制度の導入等による条文の整理に伴う改正)

⑩福生市職員の公務災害等に伴う見舞金の支給に関する条例
(新たな制度の実施に伴う制定)

⑪福生市プチギャラリー条例
(新たなギャラリーの設置に伴う制定)

⑫平成二年度福生市一般会計補正予算(第五号)
(前段参照)

厚生委員会

①福生市児童育成手当条例の一部を

改正する条例
(手当の額の引き上げに伴う改正)

②福生市老人福祉手当条例の一部を改正する条例
(手当の額の引き上げに伴う改正)

③福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例
(手当の額の引き上げに伴う改正)

④平成二年度福生市一般会計補正予算(第五号)
(前段参照)

⑤平成二年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第四号)
(歳入歳出予算の総額に四〇、五万六千円を追加し二、三億六、六三二万七千円とするもの)

⑥平成三年度福生市国民健康保険特別会計予算
(歳入歳出予算の総額を二、三億七、七三万八千円とするもの)

⑦平成三年度福生市老人保健医療特別会計予算
(歳入歳出予算の総額を二、六億八、七三万五千円とするもの)

議 会 を
傍 聴
しまし
しょう
次の定例会は
6月です。



在日米軍横田基地

湾岸戦争の

横田基地への影響は

一般質問

質問 ① 湾岸戦争による影響 子をしたか伺いたい。

② 市長の湾岸戦争に対する考 外への市費負担の考えは。

を伺いたい。

市長 ① 開

戦当日から基地への出入りが厳しく、ヘリコプターによる警戒飛行が行われた。離着陸数は、前年同期と比較し大幅に減少しており、これは湾岸戦争の影響と考える。

② 戦争という手段を用いた

ことは残念に思う。国連の機能を強化し、戦争に訴えることなく、紛争を解決する仕組みを考えることが今後の課題ではないか。また、二月一三日に司令官に面会し、安全対策に対する留意と一日も早い終結を要望した。

③ 原因は国にあるので、国負担を原則に要請していきたい。

質問 ① 情報公

開条例制定の考えは。

② 条例制定に向けての現状と今後の対応は。

市長 ① 条例化へ向けて努力していきたい。

② 現状は、文書

管理の改善を進めており、今後は制度内容を検討し、六年度を目途に制度化を図りたい。

第1回定例会
では8人の議員が一般質問
を行いました

市民部長 ④ リサイクルセン

ターの測定では、一二月が一、一八九回で前年比三六二回の減、一月は、一、一五四回で前年比一、〇七六回の減、二月は九一一回で前年比三八九回の減である。市役所屋上では、一二月が一六〇回、一月が一八八回、二月が一八八回である。

不燃ごみの 分別収集への努力を

質問 不燃ごみの分別収集への移行は、何が必要で、更に市民意識を変えていくにはどんな努力が必要か。

市長 不燃ごみの分別の細分化は、ごみの資源化と減量に必要なが、どの程度市民の協力が得られるかが問題で、今後ごみ減量推進協議会にも相談していきたい。

「日の丸」「君が代」の見解は

質問 卒業式、入学式における「日の丸」掲揚、「君が代」斉唱についての見解は。

教育長 国旗、国歌はいずれの国でも、その国の象徴として大切にされている。新学習指導要領に則して実施するよう指導していきたい。

健康と医療について

質問 ① 成人病予防の各種検診や乳児の予防接種、また休日、準夜間診療及び緊急医療体制及び障害者や痴呆性寝たきり老人の在宅介護福祉サービスの充実施策の内容は。

② 健康管理システムの総合医療カードの実施へ向けての考えは。

③ 学校プールを解放してはどうか。

④ 地域の体育館建設は、六年度と仄聞するがこの内容は。

市長 ① 成人病予防に対して市の基本健康診査は、法定一七項目に、市独自の一二項目を加えミニドック並みに、更に三年度から

大腸がん検診を取り入れる。乳幼児に対する個別接種化は、医師会と協議したい。

また、休日、準夜間診療は、当市、羽村町、瑞穂町の輪番制による診療体制で実施している。今後は、市内医療機関のみで実施できないよう、医師会に協力の要請をしていきたい。寝たきり老人に対しては、訪問看護指導及び機能訓練事業を、重度の心身障害者や身体・精神上の障害を持つ老人等がいる家庭には、家庭奉仕員及び家事援護者の派遣を、痴呆性老人対策は、福生保健所でデイケア、相談や訪問指導も行っている。施設の充実に関しては、(仮称)福祉センターを考えている。

② 都や西多摩広域行政圏協議会等に提案し、広域で画一的な実施が望ましい。今後、調査と研究を重ねていきたい。

教育長 ③ 学校プールは、開放できる期間が短いことや、開放する場合は、監視体制の確立をはじめ安全管理と衛生上の問題等の条件整備を図る必要がある、一般開放は難しい。

④ 熊川体育館程度の規模及び内容で検討していきたい。

通称富士見通りの整備の進捗は

質問 通称富士見通りは、昭和

三六年に都市計画道路として決定をみたが、

未だ整備がされていない。市の対応はいかに。



通称富士見通り (JR福生駅東口)

市長 現在、基本的な解決策として、都道へ管理替えをし、都道行による事業化を要望している。

ごみを減らす課の設置は

質問 ① ごみ減量を進める課の設置の考えは。

② 牛乳パック、アルミ缶及び食用廃油等、再利用へ向けて取り組むべきと思うがどうか。

市長 ① 四年度を目途に組織

等の検討をしたい。

② 牛乳パックは、三年度にシステムづくりを進めてみたい。アルミ缶は、廃品回収業者が引き取らなければ従来どおり、リサイクルセンターで資源化を図る。食用廃油は、石鹸などに再利用できることからPRしていきたい。

教育施設と 生涯学習について

質問 ① 余裕教室は、子供たちが自由に使用できる場としたらと思うがどうか。学校施設の開放についても伺いたい。

② 一人ひとりの心を開かせるカウンセリングや、学習の遅れを学校と家庭が一体となり指導、相談にあたる適応指導教室を考えてみてはどうか。

③ 国は、学習情報提供、相談体制整備のために、コンピューターによる生涯学習情報のネットワークづくりを進めているが、当市でも、コンピューターを利用し、地域レベルでの市民サービスを考えた生涯学習について配慮すべきと思うがどうか。

教育長 ① 余裕教室は、特別教室、相談室及び教材室等に利用しているが、より一層各学校の特徴を生かした利用を図っていきたい。学校開放は、一定の制約もあるが、多くの方が利用できるよう努めたい。

② 教育相談室との連携や、カウンセラー研修により指導の充実に努めているが、適応指導教室の

設置は、今後学校の指導、推移を見ながら課題としたい。

③ 今後、地域の社会教育関係施設を情報通信システムで結ぶ生涯学習に関する情報ネットワーク化は必要な施策であり、十分に研究していきたい。

中学校給食審議会の 経過は

質問 中学校給食審議会の経過と、答申時期について伺いたい。

教育次長 平成元年五月の設置以来延べ二八回の審議会が開催された。今月末に予定される最終審議会後に答申されるが、教育委員会では、答申内容を検討したうえで、今後の方向づけをしていきたい。

老人生涯スポーツ 団体への補助を

質問 ゲートボールなどの生涯スポーツの団体は、団体活動に必要な倉庫などの設備資金が不足がちであり、活動資金を補助できないか伺いたい。

市長 補助については、生涯スポーツ団体の指導育成を図る中で、創意工夫できるように努力していきたい。

婦人防災コンクール出場 チームに対する補助を

質問 婦人防災コンクールへの出場には経費が必要で、練習回数

に応じ、手当を支給できないか。
市長 三年度から、出場チームに少額ではあるが補助したい。

べきと思うがどうか。三小付近の一方通行の拡幅の考えは。また、陸橋通りの拡幅は、熊川区画整理事業と切り放して考えてはどうか。

市長 多摩橋通りは、都施行で七年度までに完成又は着手する予定の路線になっている。すでに概略設計が行われているが、青梅線の立体交差部分等の幅員が、二〇・五メートルで将来十分かどうか。また、図書館通りも、現在都と協議を行っている。柳通りの拡幅は、都への管理替えを基本に、都施行により整備を要望、また三小付近への一方通行の拡幅は、原ヶ谷戸交差点からの一方通行を一部拡幅し、図書館通りへ接続できるように関係者へ打診を始めている。陸橋通りは、国道一六号線や圏央道へのアクセス道路として、地元関係者の意見を尊重しつつ、一定の結論を出したい。



婦人防災コンクール
(昨年)

通称多摩橋通り などの整備状況は

質問 多摩橋通りの拡幅に伴う柳通りと図書館通りとの接続は、都市計画に総合的な判断で進める

多摩川の清流復活と 浄化はいかに

質問 都や、多摩振興構想懇談会その後の動きと、水質汚濁に関連して青梅市、羽村町及び当市



柳山公園付近の
多摩川

の水洗化の進捗状況を伺いたい。

市長 都の第三次長期計画には、多摩川の清流復活、流量増対策の報告書では、水質保全に留意し、都民の水辺空間として整備を図っていく、更に羽村堰下の流水量確保を図るとの提言的記述が入った。これを受け、都では新年度予算に調査費を計上した。

建設部長 都市下水路区域内の世帯数は、二年度二四、七二六世帯、うち公共下水道の接続世帯は、二三、〇八五世帯で、九三・四％である。未水洗化の世帯数は、青梅市が八二五世帯、羽村町が七六八世帯、当市が四八世帯で、計一、六四一世帯である。元年と二年度では三市町で二八〇世帯減っている。

適正に管理されない 農地の取り扱いは

質問 税制改正による長期営農継続農地制度の廃止に伴い、生産緑地法の改正がされるが、生産緑

地の対応を伺いたい。

市長 適正な管理をしない農地は、宅地並み課税になる。また、営農の継続ができない場合は、市が買い取るか、借用し市民農園や公園等として活用することが必要と思われる。

団地住民の 負担軽減について

質問 団地住民は、団地内の公園維持管理費、給水用動力の電気料及びダストボックスの購入費等、様々な負担を課せられている。市として、是正を行う考えがあるのか。

市長 団地自治会協議会と公社の間で、共益費の受け持ち範囲が協議され、了解のもと今日に至っており、市が直接対処することは困難である。

温水プールの 計画は

質問 建設計画がある福生地区の体育館に、温水プールを設置していく考えはあるか。

教育長 土地や管理面等、数多くの問題がある。今後、体育館建設を検討する中で研究したい。

3月	28日	26日	22日	21日	20日	19日	15日
瑞穂斎場組合議会 収益事業組合議会	西多摩衛生組合議会	東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会	西多摩農業共済事務組合議会	多摩地区離職対策連絡協議会	設促進協議会第二委員会	設促進協議会第三委員会	三多摩上下水及び道路建設促進協議会第一委員会
1日	2日	5日	6日	7日	8日	13日	14日
建設委員会	第一回定例会(一日目)	第一回定例会(二日目)	第一回定例会(三日目)	平成三年度一般会計予算審査特別委員会(一二日まで)	建設委員会	総務委員会	厚生委員会
15日	18日	19日	22日	29日			
横田基地対策特別委員会	議会運営委員会	第一回定例会(四日目)	基地協議会関東地区正副会長・監事・相談役会議				

老人福祉の 充実施策は

質問 ① 老人入院見舞金制度を、町田市と同様に実施した場合の予算額はどのくらいか。

② 高齢者にとって、住宅問題は深刻である。市として民間アパートの借り上げや家賃補助を実施したらどうか。

③ 今後の在宅福祉施策の充実



充実が望まれる

地域福祉計画

へ向けての考えは。

④ 痴呆性老人のために、一日も早いデイホームの設置が求められているが、市長はどう考えているのか伺いたい。

市長 ② 住宅問題は、都が高齢者、障害者及びひとり親の三本立てで取り組んでいる。

③ 地域福祉計画の策定が不可欠であり、福祉基金の確立を図るべく3年度に予算計上し、取り組んでいきたい。

④ 老人のデイサービスについては、(仮称)福祉センター建設の中で、取り組んでいきたい。

福祉部長 ① 町田市で実施している額に置き換えると、約六二九万円になる。

図書館の夜間開館は できないか

質問 図書館の夜間の開館が必要と思うがどうか。

教育長 必要性は十分認識している。職員体制の問題はあるが、今後検討を重ねていきたい。

下の川の道路部分の 交通安全対策は

質問 五日市線下を通過する、下の川の道路工事の交通安全対策及び道路とはけとの間に、遊歩道を設置する考えがあるか。

市長 計画道路八メートルの幅員中、一・五メートルの歩道を設けて、歩行者の安全を確保し、交通量の予測調査をして、交通安全対策に取り組んでいく。また、遊歩道は民有地のはけ部分に求めざるを得ないので、土地開発公社で先行取得をすべく調査を進めており、緑地保全と合わせて検討したい。

湾岸戦争に対する 政府への働きかけは

質問 ① 追加支援の九〇億ドルを止めるよう申し入れる考えはあるか。

② 湾岸戦争による横田基地への影響とその対応を伺いたい。
市長 ① 追加支援は、国際協



整備が進む下の川
(田園野球場付近)

調、国連外交を揚げる我が国の当然の責務であり、国会で十分審議されることを期待している。

② 開戦当日から基地の警備が厳しくなり、ヘリコプターの夜間警戒飛行が行われた。離着陸数は昨年同期の比較で減少している。二月一三日には司令官に面会し、事故防止、戦争の早期終結について申し入れをした。

中学校給食審議会 経過は

質問 ①一二月議会以後の審議会の経過を伺いたい。

② 二年余り審議されて出される答申を、教育委員会はそのように取り扱っていくのか。

教育次長 ①昨年の一二月三日は、全体会議を開催して、前回審議した項目の修正部分の確認と、答申のまとめについて検討した。同月の二六日は、代表委員が全体会議で検討した文案の作成を行った。本年一月二四日に全体会議を開催し、小委員会で作成した文案の検討を行った。二月二六日は全体会議を開催し、まとめの文案の修正確認及び答申書全体の内容確認を行った。

② 答申書の内容は、教育委員会に諮った後、議会に報告したい。

各小学校区に 児童館の建設を

質問 児童館を、小中学校区域に建設すべきと考えるがどうか。

市長 総合計画で、中学校区毎に設置するとされており努力していききたい。なお、(仮称)福祉セン

ター完成後は、現福祉会館の一部児童館転用を含め、総合的な見地に立って努力していききたい。

ボランティア連絡会の強化と 給食サービスの充実は

質問 福祉ボランティア運動の広がりや連絡会の強化に向けて、どのように考えているのか。

また、老人給食サービスを障害者や母子家庭等にも拡大できないか。

市長 連絡会の強化についても、(仮称)福祉センター内にコーナーを設けて、積極的な運営ができるよう、また給食サービスについても社会福祉協議会と協議し、努力したい。

老人福祉に対する 家賃補助制度を

質問 老人世帯に対する家賃補助制度と老人専用住宅借上げの考えを伺いたい。

市長 財政的な問題等も考慮しながら、他の福祉施策を含めて検討させていただきたい。

また、借上げについては難しい問題があるが、どのような方法が当市に適当か検討したい。

意見書

国民医療改善に関する意見書

現在、我が国は経済的に世界有数の水準に至っている一方、急速に高齢化社会に向かっている。

このような状況下において、日本社会の発展に寄与してきた高齢者が安心して入院できる病院の増設や老人ホーム、訪問看護等を含めた医療、福祉の充実を行うことは、国民ひとしく望むところである。

また、国においては医療費負担を軽減するとともに、すべての患者に対して行き届いた医療が保障されるよう要望されている。

よって、政府に対し、すべての国民が安心して医療を受け、充実した生活を営むことができるよう、国民一人ひとりの立場に立った国民医療の改善について強く要望するものである。

(本意見書を内閣総理大臣等に送付しました。)

白内障人工水晶体(眼内レンズ)の 補助に関する決議

白内障により視力を奪われることは、本人の苦痛はもとより介護面での家族の負担増が懸念されることである。

現在、医学の進歩は目ざましく、白内障における視力回復には、人工水晶体(眼内レンズ)の手術が効果的であるとして医師が勧めるところであるが、この人工水晶体(眼内レンズ)には健康保険の適用が認められておらず、高額な費用は患者負担となっている。

このような状況を改善するために、白内障手術における人工水晶体(眼内レンズ)について、健康保険の適用が認められるまでの間、市として補助を行うよう積極的な施策を要望するものである。

右、決議する。

福生市議会

ランチルーム 各小学校に設置を

質問 今後の中学校給食審議会の予定は、また六小のランチルームの現状と、他校への拡大について伺いたい。

教育次長 三月二八日の審議会後に、答申が出される予定である。取り扱いについては、教育委員会



市で初のランチルーム

(六小)

に諮り、その後、議会にお知らせしたい。また、初のランチルームは、近隣にまで注目され反響を呼んでいる。余裕教室の現状から、即他校への波及は難しいが、将来的に検討していきたい。

公民館内の 幼児室にトイレを

質問 公民館内の幼児室に、トイレを設置する考えがあるか。また、他市の状況はどうか。

教育長 保育室機能を充足すべく早急に努力していきたい。他市の状況は、四七施設中、三二施設にトイレ設置がある。

生涯学習への 取り組みは

質問 二一世紀を展望した生涯学習の取り組みを伺いたい。

教育長 現在、市民会館等で実施している各種教室や講座、市民サークルによる学習やスポーツ等の充実を図る中で、今後の生涯学習の推進に取り組んでいきたい。

三年度防衛補助前年を30%上回る

横田基地対策特別委員会

横田基地対策特別委員会が、三月一八日に開かれました。今回の委員会では、理事者側から二年度における防衛補助事業の実施状況と、三年度基地関係国予算並びに三年度の防衛補助事業実施予定についての説明がなされた。

この中で、防衛補助事業実施予定に対しては、一六事業を要望し一事案が見送られたが、下の川改修工事をはじめとする五事業に対し、補助見込額が六億五、九八三万八千円、また学校防音機能復旧事業等の一〇事業に対し、四億六、二一四万九千円、これらの総事業費一六億九、八四七万六千円に対し、一〇億六、六〇四万九千円の補助見込みが述べられた。三年度の基地周辺整備等諸施策に係る政府予算の伸びは、前年対比〇・四%だが、本市の補助見込額は、二年度当初予算に対し三〇%を超える伸びを示し、更に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業としては、拜島駅北口自転車駐車場(仮称)新設事業他一事案の用地買収が予定され、二億円の調整交付金が充てられる旨の説明がされた。

「立太子の儀」 の対応は

質問 ① 二月二三日の「立太子の儀」の当日の教育委員会の対応と、小・中学校「日の丸」掲揚の取り扱いは。

② 卒業式、入学式に「日の丸」「君が代」を強制すべきではないと考えるがどうか。

教育長 ① 二月一二日付け、都教育委員会からの「立太子の儀」についての通知に従い、国旗掲揚の配慮を小・中学校長に通知した。結果は一〇校中、八校で掲揚さ

れた。

② 学校教育で、国旗、国歌に對する正しい認識と尊重する態度を養うことが大切であると考え、新学習指導要領の趣旨に即し、指導していきたい。

除草剤散布を 止めてはどうか

質問 除草剤散布を止める考えはあるか。

市長 三年度から原則として除草剤の散布は止め、他の方法で、施設の管理を行いたい。

横田基地の

全面返還を求める考えは

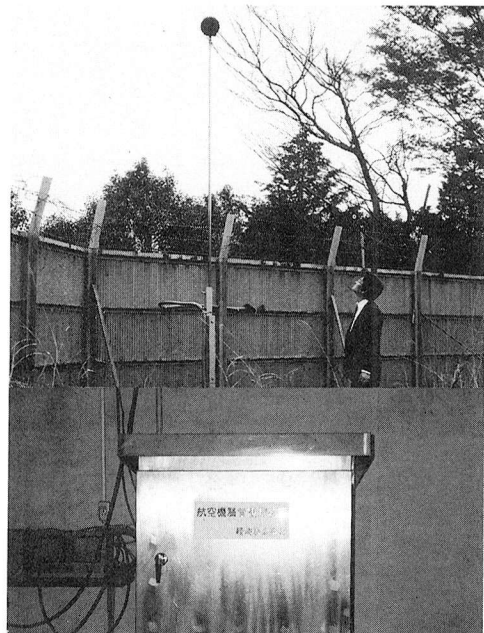
質問 ① 湾岸戦争における横田基地への影響と、平和に向けての市長の行動を伺いたい。

② 基地の全面返還を求める考えは。

③ 一二月から二月までの離着陸数を、上・中・下旬別に知りたい。

市長 ① 二月一三日、司令官に事故防止対策の万全を期すよう申し入れたほか、戦争の早期終結の要請を行った。

② 条約に基づき存在する基地



騒音測定機

(リサイクルセンター及び市庁舎に設置)

であり、容認せざるを得ず、現時点で全面返還を求める考えはない。長期的には、基地も変わると思うので、情報収集に努める確な対応をしていきたい。

市民部長 ③ 離着陸数はリサイクルセンターの測定では、一二月

月上旬は五五六回で前年比一七八回の増、中旬が四一二回で前年比二三回の増、下旬が二二一回で前年比五六三回の減、一月上旬は四八九回で前年比一二五回の減、中旬が二七三回で前年比四二一回の

減、下旬が三九二回で前年比五三〇回の減、二月上旬は一五三回で前年比三四六回の減、中旬が五〇三回で前年比一一四回の増、下旬が二五五回で前年比一五七回の減である。市役所屋上の測定では、一月上旬は九一回、中旬が五六回、下旬が一三回、一月上旬は八七回、中旬が三九回、下旬が六二回、二月上旬は二三回、中旬が一六回、下旬が三九回である。

老人福祉対策は いかに

質問 老人福祉政策の現状と今後の考えを伺いたい。

市長 平成三年四月から、新たに寝たきり老人のおむつ等助成事業と白内障人工水晶体等の費用助成を行う。また、(仮称)福祉センター内で、老人のデイサービスの実施や社会福祉協議会へ福祉基金創設の補助を行い、具体的な対策に取り組んでいきたい。

陳情・請願

各委員会で審査された陳情、請願の結果は、次のとおりです。

建設委員会

○陳情第二一九号 奥多摩街道の歩道整備に関する陳情書

(継続)

総務委員会

○陳情第三一三号 青梅線以東への地域体育館建設に関する陳情書

(採択)

○陳情第六二二二号 三宅島米空母艦載機夜間離着陸訓練基地建設計画に関する陳情書

○陳情第一一五号 「在日韓国人の法的地位協定」再協議に関する陳情書

(以上継続)

○陳情第三一六号 「新学習指導要領の撤回を求める意見書」提出についての陳情書

(不採択)

厚生委員会

○陳情第三一一号 市営斎場建設に関する陳情書

○陳情第三一二号 青梅線以東への消防団設置に関する陳情書

(以上採択)

○陳情第二一一五号 高齢者福祉事業改善についての陳情書

(不採択)

○陳情第六三一一号 国庫負担を減らし、自治体と被保険者負担増

をもたらす国民健康保険法の改悪に反対する陳情書

○陳情第一一一号 国民健康保険に関する陳情書

○陳情第一一二号 国民医療改善についての陳情書

○陳情第二一一号 原爆被害者援護法即時制定の意見書提出に関する陳情書

○陳情第二一八号 医療法の改悪に反対し、国民医療を良くするための陳情書

○陳情第二一一号 白内障人工水晶体（眼内レンズ）に関する陳情書

○陳情第二一六号 年金制度改善についての陳情書

○陳情第二一七号 犬・猫不妊手術費補助についての陳情書

○陳情第二二〇号 乳幼児予防接種に関する陳情書

○陳情第二二二号 老人のデイホーム施設設置に関する陳情書

○陳情第三一四号 市立福生保育園の新園舎完成以後も現在のままの形態で運営していくことを求める陳情書

○陳情第三一五号 老人保健法「改正」についての陳情書

(以上継続)

平成三年度一般会計予算の討論概要

(反対討論)

当市における消費税導入による負担額と、導入に伴う税制改正による歳入の増減は、三年度当初予算で九、九五〇万円、更に、補助金の削減による影響額は一億四、五〇〇万円であるにも係わらず、米軍人軍属には、軽自動車税や下水道使用料金を大幅に減免し、基地交付金も実態とは大きくかけ離れた低い金額である。

また、切実な要望である老人入院見舞金制度の実施や、修学旅行費をはじめとした私費負担解消も本予算には反映されていない。こうした中で、一般財源をどんどん積み立てた積立金は一一億円を突破し、市民一人当たり一九万円にもなる。これら積み立てた財源の一部を住民の暮らしを守るために活用することで、福祉や教育の充実が図られる。

こうした問題点が随所に見られ、自民党政府追隨の本案には反対である。

本予算の一四・六％に当たる二四億三、三〇〇万円が基地関連予算で、当然ひもつき財源であることから自由にならず、市の健全発展の阻害となり、基地所在自治体の特徴である。反面、基地に対するサービスは、ごみ処理等をはじめ目に余るものがある。一方では平和予算が従来と何ら変わらず、平和を求める多くの市民団体を参加させない事業の実施は、平和に対する市長の考え方に不信を抱かざるを得ない。

また、三多摩中程度レベルの福祉、教育予算に最たるレベルアップがなく生活環境に関しても不十分である。基本的に終始、政府自民党政策を支持する政治姿勢や、基地に対する容認姿勢を変えない限り本案に反対する。

(賛成討論)

自主財源が低く財政環境の厳しい中で、個人市民税の減額や都市計画税率を軽減し、一方では、交付金、国庫都支出金等の依存財源を大幅に増額させた理事者の努力に敬意を表す。

歳出面においては、小中学校の施設及び環境の整備や寝たきり老人へのおむつ等の助成、保険税軽減のための繰出金の増額、大腸がん検査等、福祉、保健の分野についても市民に対する優しさが見られる。

また、拜島駅の南北横断道路設置の調査費や雨水幹線、公園緑地整備等の都市基盤整備にも積極的に取り組む、プチギャラリーの開設等、新規事業で八二件、レベルアップ事業が五〇件と、あらゆる分野で着実に予算化されている本案に期待し賛成する。

懸案の(仮称)福祉センター建設計画や、福生駅西口駅前通り拡幅等へ向けての推進が図られたことは大変喜ばしい。

一方、国保税の改定見送りや都市計画税の税率の引き下げなどの軽減措置が講じられており、また特定目的基金は、財政力の弱い本市にとって必要な措置であり、本予算に賛成する。

本予算は、前年比九・六％増で、市民一人当たり税負担額は一一万六、九六五円に対し、歳出額は二八万二、八八五円である。これは、二六市中税負担は下位であり、そして歳出は上位であって、負担は低く使うは多いという構造は、補助金確保に対する理事者の努力が評価できる。

この他にも、次の議案等に対し討論がされました。

○平成三年度一般会計補正予算(第五号)

○平成三年度老人保健医療特別会計予算

○平成三年度下水道事業会計予算

※以上の議案は、賛成多数で可決されました。

本会議における討論の概要